

令和7年度第2回 金沢市部活動地域移行 検討協議会

令和8年2月9日(月) 13時15分～
金沢市役所第一本庁舎7階 全員協議会室

次第

- 1 これまでの議論
- 2 国の動向
- 3 本市の取組状況
- 4 今後の地域展開
- 5 意見交換「モデル事業の拡充の方向性について」

1 これまでの議論

1 これまでの議論

(1) 令和7年度第1回協議会（令和7年8月）

【主な意見】

- ・子供たちの多様なニーズに応えるため、できる限り活動の選択肢を用意し、情報提供をしてほしい。
- ・早急な考えで、中学校部活動を廃止した市もあるが、金沢市はじっくり時間をかけて検討してほしい。
- ・指導者の確保に向け、これからの指導者を育成するために、学生の参画を促してはどうか。
- ・学校と競技団体との調整役であるコーディネーターの役割は、今後ますます重要となることから、体制の充実が必要である。
- ・学校や地域ごとの違いはあるが、市内をブロックに分けて、部活動地域移行を進めていけばよいのではないか。
- ・モデル事業を進めるうえで、子供のニーズに応じて実施している長岡市方式を参考にするとよい
- ・これまで部活動が培ってきた教育的意義を継承・発展するには、これからのスポーツ・文化芸術に期待される役割や意義を関係者で議論し共有していくことが必要ではないか。



【まとめ】

- (1) 子どもたちの豊かで持続可能なスポーツ・文化芸術活動の機会を確保
- (2) 学校部活動の教育的意義を継承・発展
- (3) 段階的な地域移行
- (4) 体制の充実

1 これまでの議論

(2) 市議会 部活動地域移行特別委員会の提言（令和7年12月）

(1) 持続的かつ充実した地域展開の実施

- ① 弾力的制度を構築する方策及び適正な費用負担の在り方の検討
- ② 学校教員の負担水準の適正化
- ③ 活動機会の確保による地域クラブ活動の充実

(2) 子どもに寄り添った制度の構築

- ① 子ども及び保護者の思いを踏まえた制度の構築
- ② 教育的意義の確保を念頭においた活動体制の構築

(3) 円滑な制度移行及び支援・連携に係る体制構築

- ① 関係各位の連携体制の確保
- ② 各種支援等を実施する制度の検討
- ③ ロードマップに基づく着実な地域展開の実践

2 国の動向

2 国の新ガイドライン

「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」(令和7年12月 文部科学省)

改革の理念等

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**
- 障害のある生徒や運動・文化芸術活動が苦手な生徒等を含め、**全ての生徒が希望に応じて多種多様な活動に参加できる環境を整備**
- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、地域全体で支えることによる新たな価値を創出**

【中間評価】



取組方針

- 休日** 改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
 - 平日** 各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進 (まずは、国において実現可能な活動の在り方等を検証)
- ※ 学校部活動をベースとした地域との連携など、**地域の実情等に応じた多様な改革を進めていくことが重要**

認定制度

競技力向上を主目的としたチーム・スクール等との区別や質の担保等のため、**国が示す要件等に基づき、市区町村等が地域クラブ活動の認定を行う仕組み**を構築

【呼称】 「認定地域クラブ活動」 **【想定される認定の効果】** 公的支援 (財政支援、学校施設の優先利用等)、大会・コンクールへの円滑な参加等

【主な要件】 活動時間 (平日は1日2h程度以内、休日は1日3h程度以内) / 休養日 (週2日以上、休日のみ活動の場合は土日どちらか) / 低廉な参加費 / 指導体制 (不適切行為の防止徹底、指導者研修・登録等) / 安全確保 / 学校等との連携

3 本市の取組状況

3 本市の取組状況

(1) コーディネーターの活動報告（後期・主なもの）

○モデル事業の拡充に向けた関係者との協議（市協会、市中体連専門部、市スポーツ少年団など）

・ サッカー



・ 軟式野球



・ 陸上競技 合同研修会（市中体連主催）



・ その他 ソフトボール、剣道、バドミントン、ブレイキン、ライフル射撃など

○説明会

・ 大徳中学校PTA研修会



○関係団体への進捗報告・意見交換

- ・ 市立中学校校長会、市中学校体育連盟、金沢市スポーツ協会
- ・ モデル事業拡充に向けた視察、意見交換、保護者会出席、学校訪問 など

○他の自治体との意見交換、研修会の視察

- ・ 県教育委員会の指導者研修、県総合型スポーツクラブ連絡協議会研修会
- ・ 県内の地域展開視察

3 本市の取組状況

(2) 市ホームページ等による情報発信

○金沢市ホームページ

「中学校における部活動の地域展開について」



<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/sportsshinkoka/gyomuannai/1/27711.html>

- ・ 検討協議会資料
- ・ 国の取組・ガイドライン
- ・ コーディネーター活動状況 などを随時掲載

○関連リンク

スポーツ庁 部活動改革ポータルサイト

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/sports/mcatetop01/list/1372413_00003.htm

文化庁 部活動改革ポータルサイト

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/sobunsai/93972201.html>

○教育委員会情報誌「かけはし」での情報発信

全小中学生の保護者向けに配布する情報誌で取組状況を報告



3 本市の取組状況

(3) 運動部地域移行モデル事業

運動部活動地域移行モデル事業

新たに団体競技で学校施設を活用したモデル事業を開始し、3競技で実施

	柔道	ハンドボール	バレーボール
1. 実施団体	金沢市柔道協会	金沢市ハンドボール協会	金沢市バレーボール協会
2. 実施回数	月2～4回	月2～4回	12月までに計7回
3. 実施場所	高尾台中学校、大徳中学校、額中学校	高尾台中学校、兼六中学校	紫錦台中学校
4. 参加校・生徒数	6校・26人	2校・68人	1校・14人
5. 指導者	金沢市柔道協会の指導者 5人	金沢市ハンドボール協会の指導者 6人	金沢市バレーボール協会の指導者 (大学生を含む) 5人
6. 特徴	<ul style="list-style-type: none"> これまでの部活動指導員が協会指導者として休日も指導 柔道部のない学校の生徒の参加 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの部活動指導員が協会指導者として休日も指導 	<ul style="list-style-type: none"> 平日の部活動顧問と休日の協会指導者の連携により実施



3 本市の取組状況

(4) 文化部活動地域移行モデル事業

文化部活動地域移行モデル事業

吹奏楽及び合唱でモデル事業を実施

	吹奏楽	合唱
1. 実施団体	石川県吹奏楽連盟	石川県合唱連盟
2. 実施回数	月2回	月4回
3. 実施場所	金沢市立高岡中学校等	市内公民館等
4. 参加校 ・生徒数	1校・48人	1校・26人
5. 指導者	石川県吹奏楽連盟推薦の指導者 2人	石川県合唱連盟推薦の指導者 3人
6. 特徴	平日の部活動顧問が兼職兼業し実施	1校のほか、市内小中学校から数名が参加



3 本市の取組状況

(5) 令和7年度モデル事業アンケート①

1. 目的 モデル事業参加者など関係者にアンケートを行い、今後の参考とする

2. 調査期間 令和7年12月～1月

3. 調査対象及び回答者数

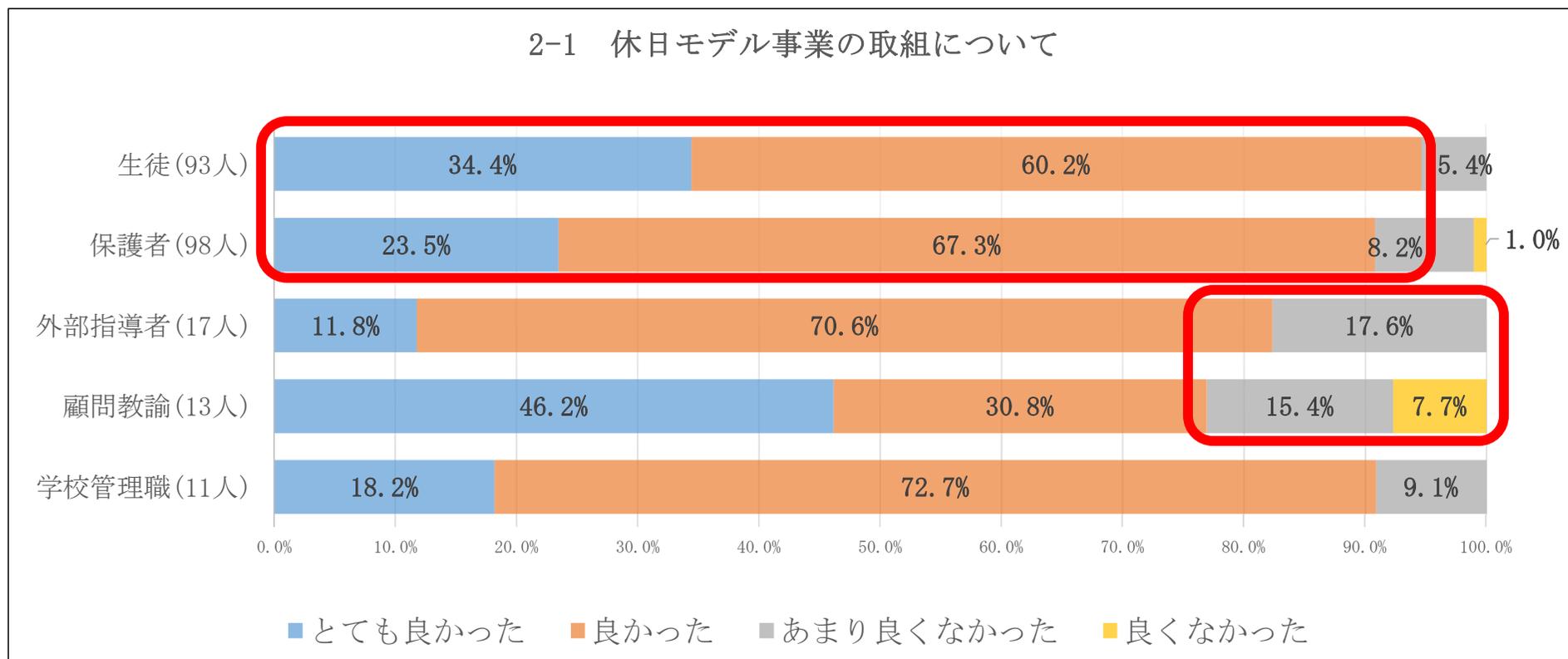
生徒93人、保護者98人、外部指導者17人、顧問教諭13人、学校管理職11人から回答
(単位：人)

競技等	柔道	ハンドボール	バレーボール	吹奏楽	合唱	計
参加校数	6	2	1	1	1	11
生徒	11	32	14	28	8	93
保護者	15	37	11	25	10	98
外部指導者	5	5	5	0	2	17
顧問教諭	4	3	1	3	2	13
学校管理職	6	2	1	1	1	11
計	41	79	32	57	23	232

4. 調査方法 Google Formsによるオンライン回答

3 本市の取組状況

(6) 令和7年度モデル事業アンケート②



- 参加した生徒・保護者の感想は、「とても良かった」「良かった」が90%以上を占め、おおむね高評価
- 外部指導者や顧問教諭からは、「あまり良くなかった」「良くなかった」との少数意見があった
→ とくに部活動を熱心に指導してきた教員の関わり方が難しい、との声があり、今後の課題

3 本市の取組状況

(7) 令和7年度モデル事業アンケート③

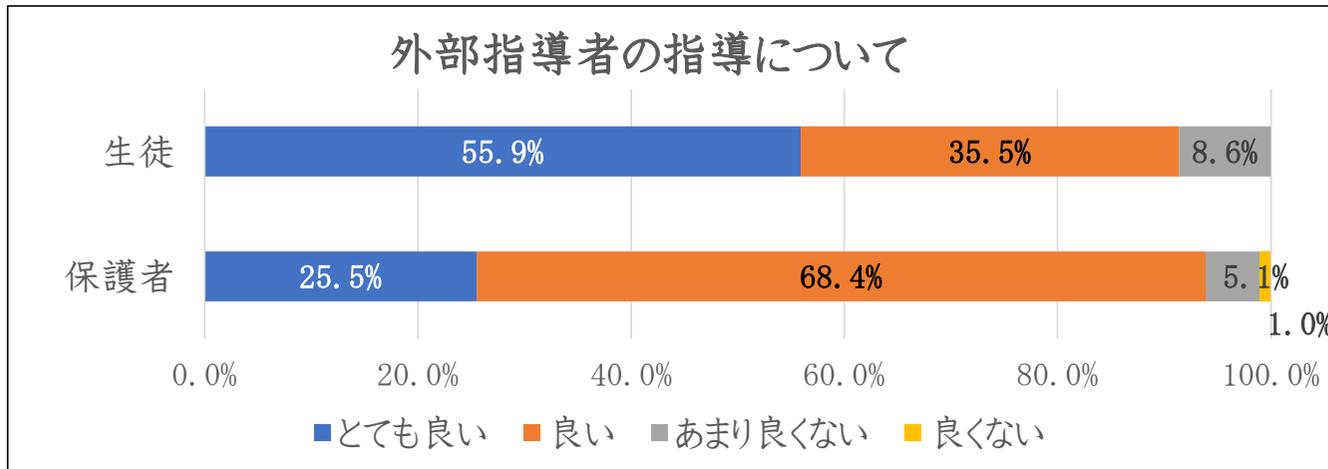
休日のモデル事業に関する評価の理由

〔評価する点〕（複数回答、生徒93人・保護者98人のうち、回答の多かった順）

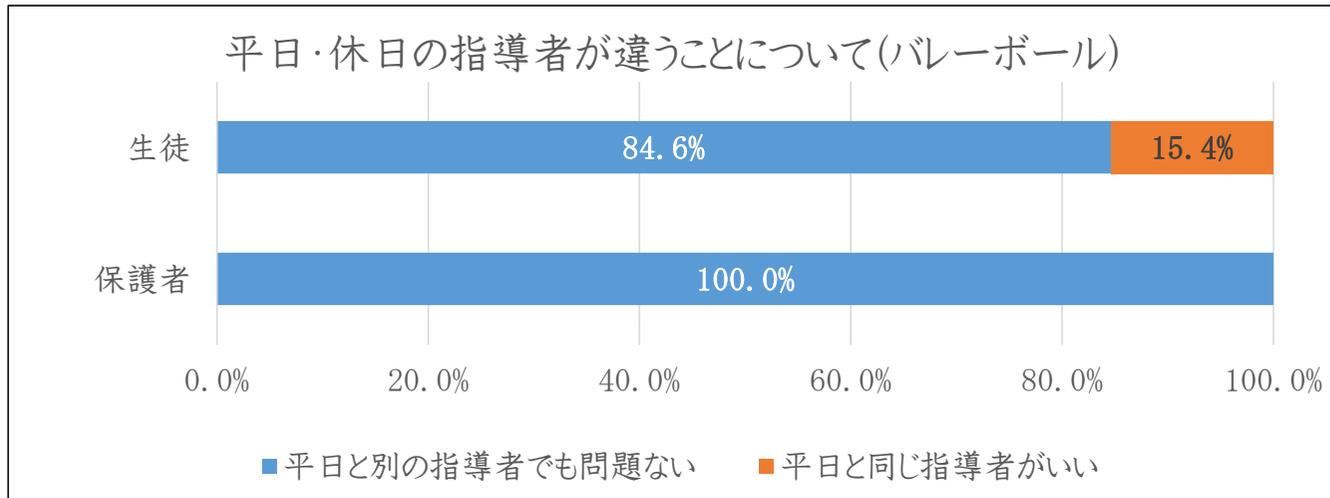
- | | |
|----------------|------------|
| ○ 技術が向上する | 生徒65、保護者46 |
| ○ 練習・指導内容が専門的 | 生徒43、保護者44 |
| ○ 活動への意識が高まる | 生徒37、保護者45 |
| ○ 指導者との人間関係が良い | 生徒12、保護者13 |

3 本市の取組状況

(8) 令和7年度モデル事業アンケート④



○ 外部指導者の指導については、生徒・保護者ともに「とても良い」「良い」で90%以上を占め、**高評価**



○ 平日と休日の指導者が異なるバレーボールでは、その点について生徒の80%以上・保護者の全員が「問題ない」と回答

3 本市の取組状況

(9) 令和7年度モデル事業アンケート⑤

○モデル事業実施団体から見た課題

モデル事業を円滑に実施するため、関係者の意向を尊重し各競技ごとに進めてきた結果、

- ①指導者数など、競技ごとに違いが生じている
- ②教員が「指導者」として関わる場合に、競技等によって対応が異なる
- ③事務処理の負担が大きい
- ④モデル事業の着地点が見えない

○学校・生徒・保護者から見た課題

- ・今後の見通しを含めた情報発信の必要性
- ・生徒と指導者の信頼関係の構築
 - 回数が少なくコミュニケーション不足(生徒)
 - 体調が悪い時、伝えにくい (生徒)

4 今後の地域展開

4 今後の地域展開

(1) モデル事業拡充の方向性

<取組の方向性>

モデル事業の拡充から認定地域クラブ活動への発展へ

- ・市のモデル事業を拡充しつつ、認定地域クラブへの移行をめざすため、国が示す認定地域クラブの要件等に基づき、地域クラブのあり方及び認定要件を検討

【主な要件】

活動時間 / 休養の設定 / 低廉な参加費 / 指導体制 / 安全確保 / 学校等との連携

【競技の拡大】

改革実行期間の前期で運動部12競技（部活動として学校内で活動中の競技）でモデル事業着手をめざす

【情報共有】

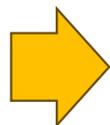
学校、保護者、競技団体等へのモデル事業の取組の周知
関係者間での情報共有と意見集約、広報活動 など

4 今後の地域展開

(2) モデル事業拡充の方向性 (運動部の例)

現行モデル事業・今後の見通し

	競技名	モデル事業
1	陸上競技	実施予定
2	バスケットボール	実施予定
3	サッカー	実施予定
4	ハンドボール	実施中
5	軟式野球	実施予定
6	バレーボール	実施中
7	ソフトボール	実施予定
8	卓球	実施予定
9	バドミントン	実施予定
10	ソフトテニス	実施予定
11	柔道	実施中
12	剣道	実施予定



モデル事業を 認定地域クラブ活動へ発展

12競技

- ①陸上競技(男・女)
- ②バスケットボール(男・女)
- ③サッカー(女子の参加可)
- ④ハンドボール(男・女)
- ⑤軟式野球(女子の参加可)
- ⑥バレーボール(男・女)
- ⑦ソフトボール(女)
- ⑧卓球(男・女)
- ⑨バドミントン(男・女)
- ⑩ソフトテニス(男・女)
- ⑪柔道
- ⑫剣道

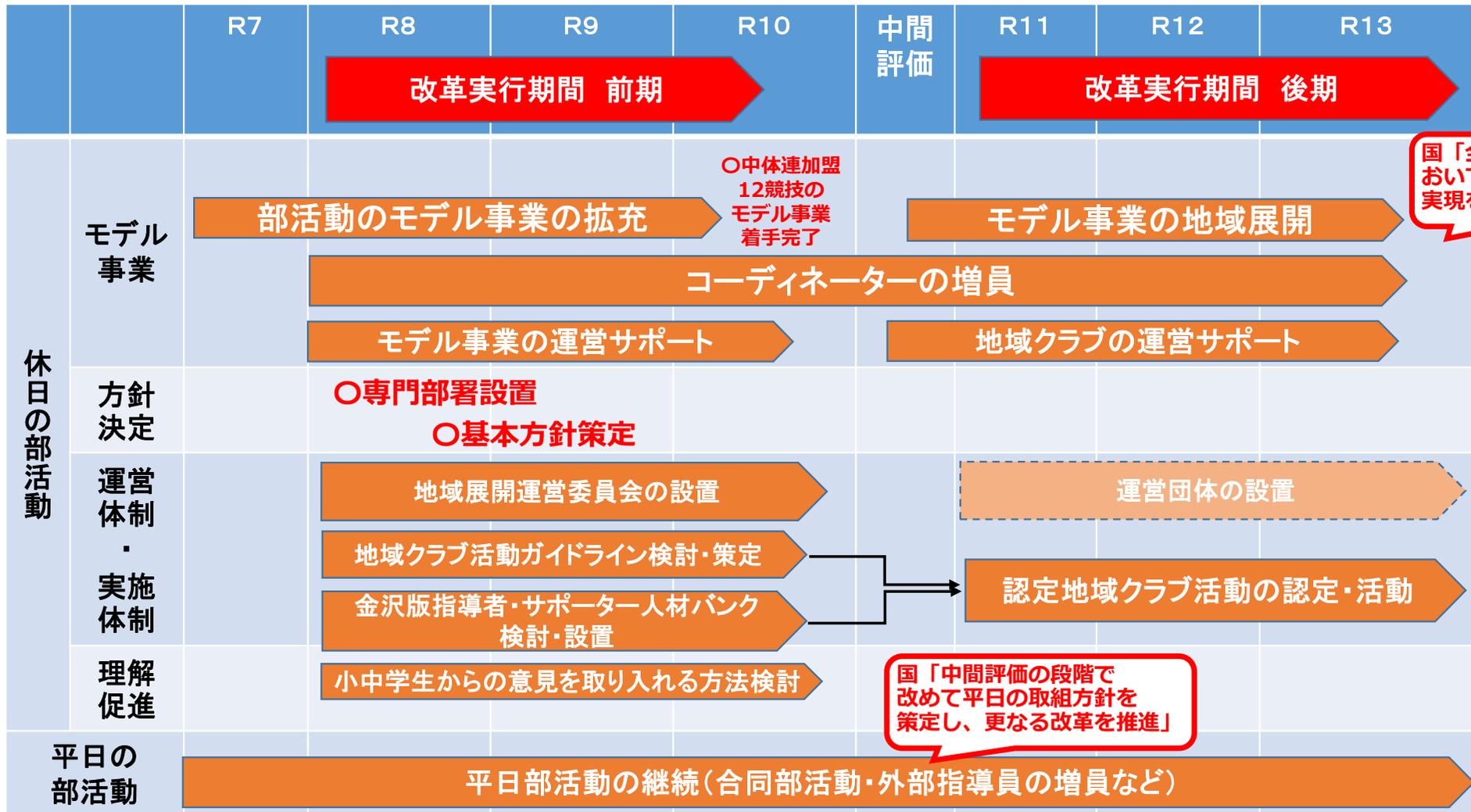
認定制度の運用開始を 視野に、順次拡大

その他の競技など

- その他の中体連加盟競技
水泳、体操など
- その他の市スポーツ協会
加盟競技
- 総合型地域スポーツクラブ
- アーバンスポーツ
- 地域活動
など

4 今後の地域展開

(3) スケジュール案



国「全ての部活動において地域展開の実現を目指す」

国「中間評価の段階で改めて平日の取組方針を策定し、更なる改革を推進」

4 今後の地域展開

〔参考〕 改革実行期間の対象児童・生徒（イメージ）

令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
実行期間(前期)			実行期間(後期)		
小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生
			夏～秋 中学時の活動について考える	地域展開の見通しを持って、部活動選択	部活動の最上級生
小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生
				夏～秋 中学時の活動について考える	地域展開の見通しを持って、部活動選択
小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生
					夏～秋 中学時の活動について考える
12競技でのモデル事業実施			休日の地域クラブを地域に拡充		

4 今後の地域展開

(4) 令和8年度予算案① 専門部署の設置

① 新 部活動地域展開推進室の設置

部活動の地域展開に向けた推進体制を強化するため、スポーツ振興課内に「部活動地域展開推進室」を設置

〔役割〕 地域展開に関する施策の包括的な企画・立案、運営体制の整備

〔体制〕 事務職員（兼務を含む）

部活動地域展開コーディネーター 2名（1名増）

※ 令和7年度に文化スポーツ局及び教育委員会に配置した「部活動地域移行担当」

（文化政策課長、スポーツ振興課長、学校指導課長、生涯学習課長）は

「部活動地域展開担当」に改称し、今後も継続

4 今後の地域展開

(5) 令和8年度予算案② 基本方針の策定・運営委員会の設置

新 部活動地域展開基本方針の策定

地域展開の方向性や運営体制、スケジュールなどをまとめた基本方針を策定

〔内容〕 ・ 地域展開の方向性、運営体制

・ 地域クラブ活動の認定基準、指導者の確保策

・ スケジュール（本格実施時期を含む） など

新 「部活動地域展開運営委員会」の設置

地域展開を統括する運営団体の設立に向け、関係団体等による委員会を設置

〔構成〕 市スポーツ事業団、市スポーツ協会、市中学校体育連盟、芸術文化団体など（予定）

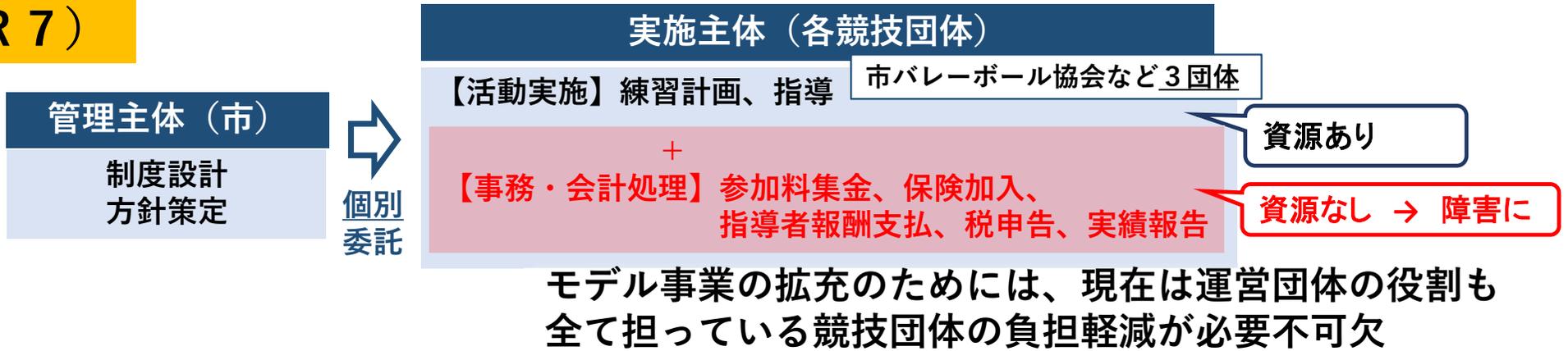
〔役割〕 実施団体の活動状況の管理、指導助言、相談対応など地域クラブの活動支援、

運営団体の設立準備、モデル事業拡充のための実務者による意見交換・研修会の実施

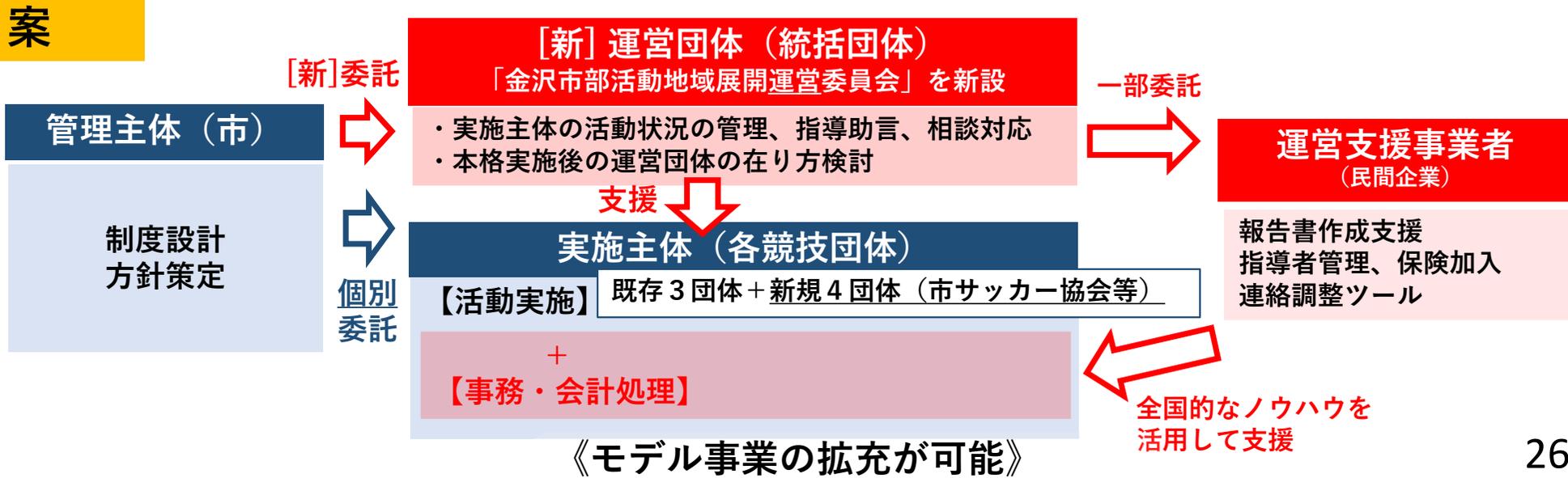
4 今後の地域展開

(6) 令和8年度予算案② 運営委員会の設置

現状 (R7)



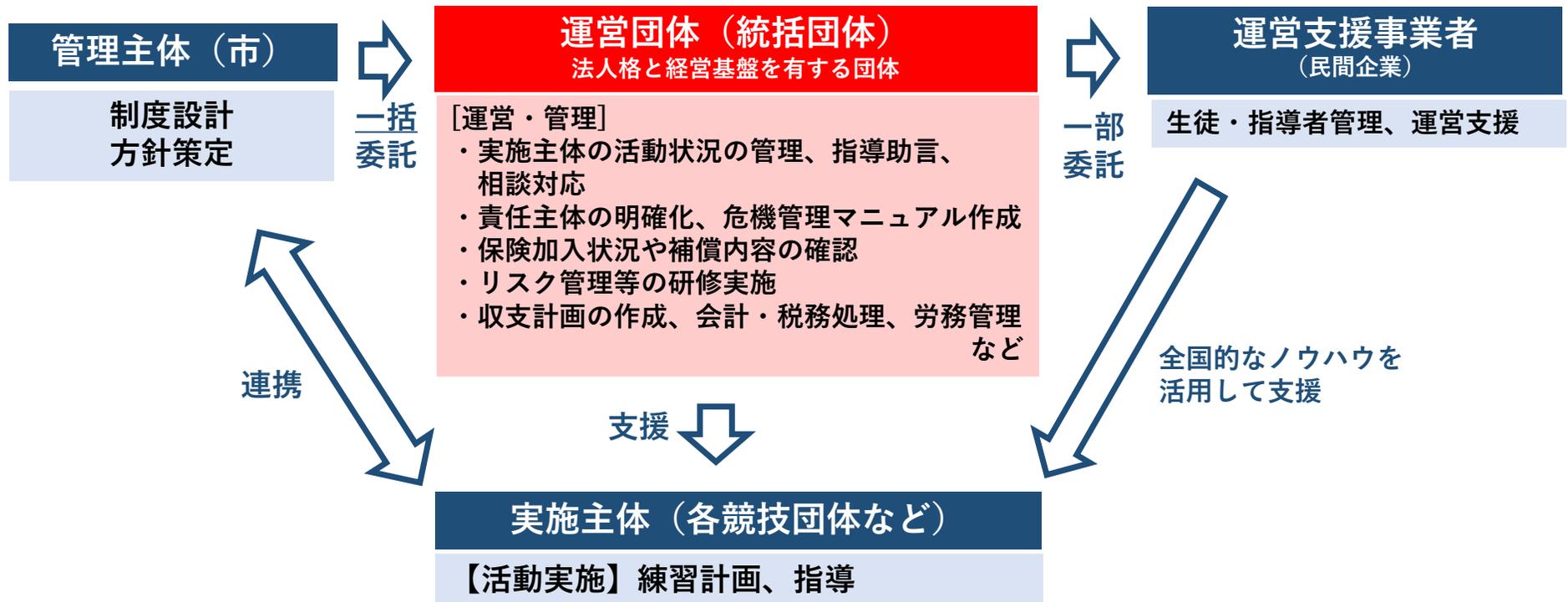
R8案



4 今後の地域展開

(7) 令和8年度予算案② 運営委員会の設置

地域展開 **本格実施後** イメージ [参考]長岡市



4 今後の地域展開

(8) 令和8年度予算案③ モデル事業の拡充・協議会の開催

改 部活動地域展開モデル事業の拡充

- 【運動部】
- ・ 既存3競技の拡充（柔道、バレーボール、ハンドボール）
 - ・ 新規4競技の開始（複数校合同により実施するモデル事業を追加）
陸上、野球、ソフトボール、サッカーを予定
 - ・ サポーターの配置：指導者以外に、指導者のサポートをするサポーターを配置
- 【文化部】
- ・ 既存2活動の拡充（吹奏楽、合唱）

改 「部活動地域展開推進協議会」の開催

改称し、年3回程度開催

〔名称〕 地域移行検討協議会 → 地域展開推進協議会

〔役割〕 部活動地域展開基本方針の内容に関する議論 など

4 今後の地域展開

(9) 令和8年度スケジュール

令和7年度

モデル事業の拡充
先行都市の事例調査

方針の検討・協議

第1回 協議会 (令和7年8月26日)

- 国・先行都市の取組状況
- 本市における部活動地域移行の方向性について

第2回 協議会 (令和8年2月9日)

- 地域移行モデル事業報告
- モデル事業の拡充について

令和8年度

基本方針の策定

モデル事業の拡充
運営委員会の設置

第1回 協議会 (5～6月頃予定)

- 基本方針(骨子案)の検討①
- [7～8月頃予定 市民アンケート]

第2回 協議会 (10月頃予定)

- 基本方針(骨子案)の検討②
- [11～12月頃予定 パブリックコメント]

第3回 協議会 (1～2月頃予定)

- 基本方針(最終案)の協議

2月頃予定 基本方針の策定・公表、関係団体への周知

5 意見交換

「モデル事業の拡充の方向性について」

5 意見交換

論点

モデル事業の拡充の方向性について

【資料】金沢市立中学校 運動部の設置状況（令和7年度）

陸上	16部（629人）	卓球	20部（762人）	
水泳	14部（55人）	バドミントン	16部（576人）	
バスケット	20部（972人）	ソフトボール	9部（155人）	
サッカー	17部（491人）	柔道	4部（48人）	
ハンドボール	6部（228人）	剣道	11部（171人）	
軟式野球	20部（462人）	相撲	1部（8人）	
体操	2部（2人）	スキー	4部（5人）	
新体操	1部（3人）	硬式テニス	2部（110人）	
バレーボール	19部（794人）			計 204部、6,441人
ソフトテニス	21部（970人）			

※ 24校中の設置状況（同好会も部活動に含む）

※ 令和7年5月1日現在

【資料】金沢市立中学校 文化部の設置状況（令和7年度）

科学	13部（341人）	茶道・華道	4部（80人）
合唱	3部（51人）	囲碁・将棋	2部（31人）
吹奏楽	20部（880人）	放送	7部（109人）
文芸・読書	2部（30人）	家庭・クッキング	2部（24人）
演劇	2部（13人）	社会	1部（24人）
美術	20部（722人）	文化	2部（8人）
英語	1部（35人）	工作	1部（28人）
		計	80部 2,376人

※ 24校中の設置状況（同好会も部活動に含む）

※ 令和7年5月1日現在